KDN No. PP 16491/06/2010(024832)

マレーシアがもっと好きになる ライフスタイルマガジン FREE 毎月5日発行

senyum

[セニョ～ム]

1 January 2010
5 号

特集

キナバル山
雲の上の冒険

インタビュー 「Tokyo Blue」リーダー 前川博昭 さん

特集

キナバル山
雲の上の冒険

富士山より高く東南アジア最高峰・４０９５メートルを誇るキナバル山。
世界の山好きが何度でも通いたくなる理由はその高さだけではないはず
だ。キナバル山の魅力は何か？　雲の上の冒険＝山登りとギネス公認済
み世界最高所・ヴィアフェラータ＝へと向かった。（文・写真　小畠賢一）

日本の山に思いを馳せる

今から14、5年前コタキナバルからタワウへ向かう機内から見たキナバル山。山頂から少し高い位置を飛ぶ飛行機。そのときも快晴で、日本の剣岳の八つ峰や早月尾根、さらには屋久島の本富岳（モッチョム岳。本富岳は海抜１０００メートルに満たない山だが花崗岩でできた大スラブで、海にも近く、キナバル山頂の岩と共通する）を思い出しながら飛んだ記憶がよみがえる。

１９６０年の夏、父と登った三重県の御在所岳が初めての登山だった。途中間隔が開いても中部山岳の縦走をはじめ岩と冬山と海に明け暮れ、１９７８年にはスイス、イタリア、フランスなどヨーロッパアルプスに登ったが、90年頃から中部山岳の低山登山に行く程度で、ボルネオに住むようになってからは専ら海に親しんでいる。

日本を代表する富士山は外見的に女性的な優しさのイメージが強いが、登山道や岩などを見るとかなり老いぼれたように感じる。

一方キナバル山の勇壮は非常に男性的に見える。遠望する限りでは山頂の岩の起伏は、フランスのシャモニー地方にあるモンブラン山群の難攻不落と言われた針峰群（針のように尖った岩山）のようだ。キナバル山中腹にあるペンダントハットの小屋にはフランス山岳会のメンバーが持ってきた＊グランドジョラスやシャモニーの針峰群の写真が飾られている。

ところがキナバル山は登ってみるとかなり女性的なのに驚かされる。特にサウスピークのバナナルラバンロックフェース付近のカールは氷河に削られたような滑らかさとスロープで、見事なまでの岩肌だ。例えるなら、まだ若いピチピチギャル（？）のような新鮮

＊グランド・ジョラスはフランスとイタリアの国境にある山で、その北壁はヨーロッパ三大北壁の一つ。シャモニーはフランスの避暑地、登山基地で、アルプスの少女ハイジでお馴染みの、世界三大北壁登山のベースになる所。

ネイチャーウォークから昆虫採集等々、お気に入りのツアーをお選びください

◆ JTB マレーシア ◆

JTB が一押しの年明けツアー、サバ州・コタキナバルといえば「世界遺産キナバル公園とポーリン温泉」。標高 1,500m にあるキナバル山登山口を起点にスタートするネイチャーウォークと温泉で足湯する（大自然のなかでの足湯は最高！）日帰りのツアーです。この温泉は旧日本軍が発見したもので、周囲に竹が生い茂っていることからポーリン（ドゥスン語で竹という意味）温泉と呼ばれています。また、温泉の入り口にある吊り橋（樹上高さ 41m）を渡りながらジャングルを観察する「キャノピーウォーク」も見逃せません。

小さなお子様連れのご家族には、「ボルネオ昆虫採集体験と蝶園ツアー」をお勧めします。カブトムシやクワガタなど日本では見られない珍しい昆虫に出会えますよ。JTB ではこの他いろいろなコタキナバル発ツアー（全 17 種類）をはじめ、コタキナバル 2 泊 3 日フリー＆ステイ（宿泊・朝食・現地日本語ガイド・空港送迎付き）のパッケージ（RM588 ～）もご用意しています。今年も JTB ツアーで「マレーシアをもっと好きになる」体験をしてくださいね。

Japan Travel Bureau (M) Sdn. Bhd.
16.05-16.07, Level 16, Amoda Bldg., 22 Jalan Imbi, 55100 KL
Tel: 03-2142 8721（日本語）
Fax: 03-2142 5344
email: sales@jtbmalaysia.com.my
Website: www.jtbmalaysia.com

キナバル登山とアジア初ヴィア・フェラータの醍醐味をお届けします

◆ オーシャン・ディライト ツアーズ＆トラベル ◆

ヴィア・フェラータはイタリア語で「鉄の索道」を意味し、素人でも岩壁を登ったり下ったりすることが可能なアクティビティです。

オーシャン・ディライトツアーズ＆トラベル社は日系の旅行会社のなかでもヴィア・フェラータ手配をいち早く開始し、すでに多くのお客様にご体験いただいています。このコースは世界自然遺産でもある、キナバル山登頂とヴィア・フェラータを組み合わせており、山小屋もこのコース参加者だけが利用できる新しいロッジ「ペンダントハット」で快適にお過ごしいただけます。

弊社は主に日本人のお客様のツアーを催行しており、日本人スタッフも常駐しています。東マレーシアのご旅行は弊社にお任せください。

キナバル登山手配はもちろん、ダイビング、ジャングルツアー、その他、各種日帰りツアーをご用意しています。お気軽にお問い合わせください（日本語可）。

Ocean Delight Tours & Travel Sdn. Bhd.
Unit 1.26, 1st Fl., Kompleks Asia City, Phase 2, Jalan Asia City, 88000 Kota kinabalu
TEL: 088-283808 / 283818（日本語）
FAX : 088-250840
email: info@oceandelighttours.com
ocean_de@streamyx.com
Website: www.oceandelighttours.com

自然愛好家の皆様へ。心からのおもてなしをいたします

◆ ボルネオ・トレイル ◆

「東南アジア最高峰　キナバル山 4,095m」と聞いて少し躊躇される方、弊社では初心者の方でも安心のゆったりとしたプログラムをご用意しております。

山麓に 1 泊、山小屋に 2 泊、急がず、ゆっくり。高山病にならないようにマイペースで。山小屋からは体調を見ながら頂上へ。2 泊あれば、1 泊目に無理せず 2 泊目に登頂もできますね。整備された登山道を山の民（ドゥスン族）の手厚いサポートを受けながら、ウツボカズラやランなどを観賞し、登るほどに移り変わる生態系の変化、山の醍醐味をたくさん味わいましょう。

下山後は、余力があれば、世界一大きな花「ラフレシア」を探しに！　ガイドがポーリン温泉周辺の開花情報を集めてくれます。

お子様のいらっしゃるご家族にはラフレシア日帰りツアーを手配致します。「senyum 1月号」をご覧になって 2010 年 3 月 31 日までにお申し込みのお客様には 10%割引致します（詳細条件あり）。日本人スタッフも常駐していますので日本語でお気軽にお問い合わせください。

Borneo Trails Tour & Travel Sdn. Bhd.
Lot 128, First Fl., Wisma Sabah, Jalan Tun Fuad Stephens, 88400 Kota Kinabalu, Sabah
Tel: 088-235900/ 245900
Fax: 088-247800
email:japanese@borneotrails.com
Website:www.borneotrails.com

さを感じてしまう。

噴火してできた富士山と隆起してできたキナバル山（噴火説もあるが、私は隆起した山だと思う）の、外観と登山道の対照的な違いに改めて自然の深さを感じる。

周囲の環境の変化を楽しみながら登る、ひたすら登る

さて今回3回目に当たるキナバル山登頂の目的は、雲の上の冒険、山頂に近い標高3800メートル地点に作られた岩のルート「*ヴィア・フェラータ」を体験する事である。

＊　＊　＊

早朝コタキナバルを出発し、キナバル公園管理事務所で入山手続きを済ませる。地元山岳民族・ドゥスン族のガイドの案内で登山口のティンポホンゲートに移動、入山チェックを受けいよいよ登山開始となる。（スタート地点は標高1866メートル）

スタートしてすぐに大きな水音が聞こえる。カールソンの滝だ（心の中で安全を祈願する）。しばらくは階段状の登山道、熱帯雨林のなかをひたすら登る。シダ類やランの仲間、ウツボカズラなどで目を楽しませ、時々霧に包まれながら登る。500メートル置きにある道標が位置の確認とペース配分に役立つ。シェルターやトイレ付きの休憩所を通過し、テレコムの鉄塔を超え、ただひたすら登る。なにやら人の声が聞こえる。少し開けた所にあるシェルター「ラヤンラヤン」だ。標高2700メートル地点、休憩を兼ね早めの昼食をとる（カロリー高めの行動食）。

休憩を済ませ、再び上を目指す。すぐにマシラウ登山道との合流点を通過。4年ほど前、ここにレストランを作る予定で造成がはじまったが、環境保護のため中止になった跡地だ。当時荒れ放題だった建設予定地も草木に覆われかなり回復している。恐るべし熱帯雨林の再生能力。

ここまで来ると樹高も低くなり高山帯へ様子が変化し、視界も所々開け同時に空気の薄さを感じるようになる。高山帯の植生は低木針葉樹（ハイ松）と広葉樹（樺類）の仲間が多く、下層に石楠花やツツジ、カズラなどが咲いている。ここの植物生息域は標高3700メートルでかなり高い位置まで生息する点が日本の山と大きな違いだ。

前方に建物が見えてくる。精霊の怒りを鎮める生け贄の聖地・パナールラバンに到着だ。

昼過ぎ、少し先のラバンラタレストハウスに到着（標高3200メートル）。休憩を入れて約4時間、良いペースである。通常はこのレストハウスを利用するが、今回はここからもう少し上にある山小屋「ペンダントハット」に泊まることになっている。

小休止の後、ヴィア・フェラータを運営・管理するマウンテン・トーク社のスタッフから明日の岩登りのための器材の取り扱い説明を受ける。岩登りが初めての人は器材の名前もわからず戸惑うだろうが、ここのスタッフは皆根っからのロッククライマーで、インストラクターとしての訓練を受けているので心配はない。しかも器材は本場イタリア製でカラビナ、ザイル、ハーネス、ヘルメットなど全て国際基準の規格をクリアーしたものを使用しているので安心。

明日は早朝3時に出発。山での生活は当然のことながら早飯、早寝が原則。夕食はすぐ下のラバンラタレストハウス内のレストランで済ますが、ビュッフェスタイルのかなり豪勢な食事だった。毎日30キロを超える食料や資材を担ぎ上げるドゥスン族のポーターたちに感謝しながらいただく。そういえば登山先進国スイスのマッターホルンのヘルンリ小屋に泊まった時は、ヘリで荷揚げをしていてビーフステーキを食べた記憶がある。

遠く80キロほど離れたコタキナバルや南シナ海を見下ろしながら、沈む夕陽に焼ける雲。至福の一時を済ませ明日の登頂に夢を馳せる。午後7時就寝。

見事なご来光とブロッケンに息を呑む

翌朝午前2時起床。トーストにゆで卵、コーヒーの軽い朝食を済ませた後キジを撃つ（登山用語で大便の事）。午前3時、山岳ガイドとともにヘッドライトに誘導され登山開始。登山ルートにヘッドライトの花が咲く。高所のため空気が薄く高山病などの高度障害が出やすい高さだ。頂上での夜明けと距離を頭でペース配分し、抜きつ抜かれつで岩場を登る。

標高3668メートルにある最後のシェルターで一休み。かなり気温が低い。体感気温で3～5度であろうか。最後の樹林帯を抜け岩稜帯に入る。風の通り道では体温を奪われる。さぁ、もう一息で富士山と同じ高さだ。

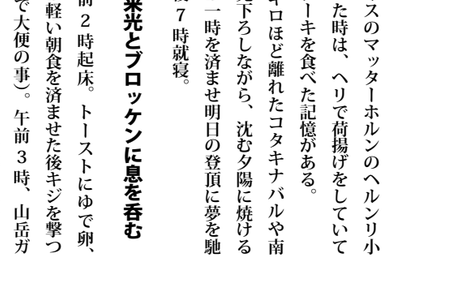
登山口から距離で7.5キロ地点、標高3800メートルの道標。富士を越えた。さらに8キロ地点、道標4000メートル。頂上を目指して登り始めて2時間が経過。自然と笑みがこぼれる。残り標高100メートルだ。月を眺め天中に輝くオリオンを眺める余裕すら出てきた。間に合わせの安物防寒着で少し寒いが、好天のお陰でご来光も期待できそうだ。

さぁ、いよいよ山頂のロウズピークだ（標高4095メートル）。

東の空が焼け始めた。壮大な夜明けにレンズが待機する。地平線も色付いてきた。日の出だ、夜明けだ。

世界自然遺産に指定されたキナバル山の魅力の一つは、全行程（17Km）で熱帯雨林から高山帯、森林限界までの植生を観察できることだ。ランや石楠花をはじめ約4,500種の植物があると言われている。①石楠花（地元ではピンクベルと呼ばれている）②ラン科のパピローサ・セロジネ　③ジャイアントモス　④食虫植物として知られるウツボカズラ。ボルネオ島に多種生息する。⑤リネアトス・キイチゴ（食用。標高2,400m 付近まで生息する）　⑥シェルターで休んでいると餌を求めてやってくるリス。まん丸の目が愛くるしい。⑦ナナフシ。体に7つの節があることから竹節虫とも呼ばれる。

◀登山道は比較的よく整備されており、登りはじめは木で補強された階段道が続く。



⑧登山道で行き交うドゥスン族のポーターには男性ばかりか女性もこうして、山腹にある山小屋まで毎日 20–30 キロの重さの荷物を運ぶ。⑨登山道最後のシェルター脇にある見張り所。⑩今回ガイドを務めてくれたドゥスン族のタイシンさんはガイド暦 30 年のベテランだ。⑪東の空が焼け始め、壮大な夜明け「ご来光」をカメラに収める。息を呑むほどの美しさに登山の疲れも癒される。

今立っている頂は、この島の、この国の一番星に近い所なのだ。360度見渡す視界の中で自分より高い物はない。太陽すら東の地平線から顔を出したばかり。西の月は今日の役目を果たし、南シナ海に沈もうとしている。

鳥肌が立ち震えがくる瞬間を感じる。太陽に背を向けると、自分が今いるキナバル山ごと100キロ以上も遠くまで、ずっとずっと遠くまでシルエットができている。*ブロッケンだ。山頂でその影に手を振る。さすがにキナバル山と比べるとあまりにも小さな体の影は何の反応も写してくれない。この山の大きさに改めて感動し感激する。

日が上昇するに伴い山の影が小さくなり、ピラミッドの頂点が近くに寄ってくる。過去、いろいろな山の稜線や頂で、自分自身の影が空間に写るブロッケンを見てきたが、キナバル山の投影的な影の芸術は見た人でないとわからないだろう…などと思いにふけっている間に後発組が増え過密化してきた。これから岩壁にしがみつくスリリングな冒険「ヴィア・フェラータ」が待っている。

ヴィア・フェラータ 標高3800メートルからの岩下り

頂上に別れを告げ下山開始。午前7時、サウスピーク下、アジア初、世界最高所（3800メートル。ギネス登録済み）のヴィア・フェラータ取り付き所に到着。小休止する。

昨日講習してくれたマウンテン・トーク社のスタッフが装備一式を揃え、待機していてくれた。器材をセットし、ザイルを結び、最後の安全点検を行う。午前7時半、ヴィア・フェラータを開始する。

＊ブロッケン現象とは分厚い雲や霧と太陽に挟まれた時、雲や霧に自分の影が移り、光の屈折で輪や虹ができたりする特異な現象をいう。

＊ヴィア・フェラータはイタリア語で『鉄の道』を意味する。岩肌にルートを作り、取り付き点（入り口）から終了点まで頑強なワイヤーを張りめぐらせ、そのワイヤーにカラビナとザイルを使い安全確保しながら進む。もちろん足場や手掛かりも確保されており、ガイドと結ばれたザイルで、2重3重の安全確保がなされている。この鉄の道のお陰で、通常ではロッククライマーしか登攀できない岩盤まで素人でも安全に到達可能になった。現在ヨーロッパを中心に世界中で 300 ヵ所以上のヴィア・フェラータがある。

①標高 3,800m 地点にあるヴィア・フェラータ取り付き所（写真奥の小高い所）。その向こう側、雲を下に見ながら花崗岩の大スラブ（高低差約 400m）を下降する。②安全第一のヴィア・フェラータ。マウンテン・トーク社のスタッフは何度も安全確認をしてくれるので安心だ。③ルート途中で目にした古いシュリンゲ。日本山岳会の堤さんが 35 年前の登攀時に打ったもの。④標高 3,600m 地点にある吊り橋は思った以上に安定していた。

⑤キナバル山のヴィア・フェラータはアジアで唯一、世界最高所のヴィア・フェラータとしてギネスにも認定された。初級者向けと上級者向けの 2 ルートがある。初級者向けでは 10 歳児（身長 130cm 以上）から 70 歳の高齢者まで、基礎体力さえあれば誰でも安全に楽しむことができる。運営・管理するのはマウンテン・トーク社（www.mountaintorq.com）だが、申し込みはヴィア・フェラータ取り扱い旅行代理店かアウトドアショップまで。

《筆者　あとがき》

歳とともに山登りがしんどくなり、自称「下山家」で日頃楽なダイビングばかりしていましたが、基礎体力と気合と天候に恵まれれば 4,000 mを超える山でもまだまだ登れる自信が沸いてきました。東マレーシア・ボルネオ島に旅行される皆様、ボルネオ島で一番高い頂に立ってください。もう一つ新しい人生が始まると思います。

よい年になりますようお祈り申し上げます。

ボルネオ楽しむ会　小畠　賢一

http://blogs.yahoo.co.jp/rrrobata

標高３８００メートルまでの花崗岩の大スラブを下降する。キナバル山のパナルラバンロックフェースは実に安定している。ドロミテもコルチナダンペッツオもマッターホルンも、グランドジョラスも日本の名だたる岩壁も、私の登った限りこの大スラブの安定さにはかなわないだろう。岩が崩れることのない、フリクションの良く効く岩だが、その分ホールドやスタンスが少ないスラブ状岩。要所にはボルトが必要だとも感じたが、ほとんどがフリークライムできそうな所（許されるなら懸垂下降でぴょんぴょんしたかったのだが）。安全な固定ワイヤーが張られセルフビレイの架け替えにイライラし、人工的なスタンスやホールドに岩の痛みを感じながら、（安全すぎる?）ヴィア・フェラータを終了。３６００メートル地点に釣り橋、３５８０メートル地点にネパール式3本ケーブル橋があるが、いずれも世界一高い記録とのこと。

ルートの設定は非常によかった。岩も浮きがなく落石の心配もほとんどない。素人でも利用可能だと感じた（ただし高度に弱い人、目まいがしたり足がすくむ人は遠慮したほうがいいだろう）。

ルート途中にボルトやリングが何本も入っている古いシュリンゲ（岩壁に打ったハーケンやボルトに縛る細めのロープ）もある。日本山岳の＊堤信夫さんが１９７５年代に登攀したときのものだそうだ。単なる登山ルートではなく大岩壁を35年も前に、しかも日本人が…。日本人はすばらしい民族だ。またまた感激。

行程約2時間、無事下りきり器材を外し一般登山道と合流しマウンテントークの山小屋ペンダンハットに向かう。これで今回の行程は明日の下山のみ。今日は疲れを癒しノンビリと午後の時間を楽しむだけだ。自然と対するには天候の良し悪しが大きく左右する。明日の好天を期待し今日も早目の就寝、実に健康的な生活だ。

３日目朝、６時に起床。朝食を済ませキジを打ち、迎えに来てくれた山岳ガイドと合流。午前７時、世話になったスタッフと最後の挨拶をしてペンダントハットの小屋を後にする。今日も好天に恵まれた。快調に下る。食料を荷揚げするポーター（スリッパ履きで登っているのに驚く）やフーフー息を切らして登る登山者に声を掛けながら景色を楽しみ、午前10時前ティンポホンゲートに到着。下山手続きを済ませ、行動を共にしてくれた山岳ガイドにお礼と別れを告げた。（了）

＊堤信夫。1951 年 3 月 29 日、京都生まれ。日本ロープレスキュー協会代表。1975 年にボルネオ・キナバル合同登攀隊隊長として登頂、新ルート「パナルラバン・ロックフェース」を開拓した。そのルートがキナバル山のヴィア・フェラータとなった。

キナバル山

はじめての登山用品選び方ガイド

登山用品選びは経験豊富な人に聞くのがいちばんだ。そこでセニョームはKL市内の人気アウトドアショップを訪問。キナバル山登頂に必要な登山用品の選び方からお勧めのギアを紹介してもらった。

「登山用品のなかで最も留意が必要なのはバックパックと靴、ウェアです」とンさん。KL市内バンサでラフマとミレー専門のアウトドアショップ「イエローストーン」のオーナーだ。

ンさんによると、バックパックは一泊二日だと30〜40リットルサイズ、背中に当たる部分がメッシュになっていて通気性の良いもの、また背中のカーブに合った形を選ぶのがポイントだ。

靴は雨対策を考えると防水加工のものがいい。「捻挫しないようにローカットは避けること。また山頂は花崗岩で滑りやすいのでグリップのしっかり利いた靴がお勧めです。」

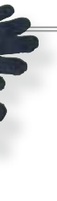
ウェアの基本は3レイヤー。まず速乾性のある軽いもの（第一レイヤー）を選ぶ。次に山頂の気温（摂氏0度まで下がるときもある）や強風、雨を考慮して暖かくて軽いフリース（第二レイヤー）とジャンパーあるいはポンチョ（第三レイヤー）。ゴアテックス素材ならまず安心だ。

そのほかキナバル山登頂の必携アイテムとして挙げられるのは手袋やボール、ヘッドライト。

「コアゾーン」の名で知られるPJのアウトドアショップはこうした小物類も豊富に取り揃えている。フレンドリーで経験豊富なスタッフもいるので、気軽に立ち寄ってみたい。

［取材・撮影協力店］

A. COREZONE
42, Jalan SS2/24, 47300
PJ, Selangor
Tel: 03-7873 5560
www.mycorezone.com
B. Yellowstone Sdn. Bhd.
No.16(G/F), Jalan Telawi,
Bangsar Baru, 59100 KL
Tel: 03-2287 1118
www.lafuma.com.my



5

ロープを掴んで登るキナバル山では手袋が必須。ウォータープルーフ。手のひらの部分が PBC 加工で滑りにくい。ライナーの上からつけると温かい。
Outdoor Designs
④ Stretch ON ライナー RM41　A
⑤サミットグローブ RM147　A

6

50 + 10 リットル。ヘッド部分を伸ばして、拡張できる大容量。
⑥ **MILLET** ＜ Treck Lite ＞ RM899　A

8

山小屋から山頂へ向かうときに使いたい小型サイズ（15 リットル）のバックパック。鮮やかなグリーンカラーが一際目立つ。
⑧ **Lafuma** ＜ HIKO ＞ RM299　B

7

登山に最適な軽量のバックパック。30 リットル。レインカバー付きで、背中がメッシュになっているので通気性がいい。
⑦ **MILLET**
＜ ELEVATION ＞
RM489　B

Lafuma のトレッキングシューズ。防水透湿性に優れたアウトドライ ® メンブレンを使用し、シューズ内を常に快適に保ってくれる。アウトソールは Lafuma 専用＊ビブラム ® レボリューション。
① **Lafuma** ＜ M XLIGHT ＞
ハイカット (男性用) RM769　B
② **Lafuma** ＜ LD　XLIGHT ＞
ミドルカット (女性用) RM699　B

1

2

＊ビブラムとは、イタリアのビブラム社製の突起があるゴム製の靴底。程よい弾力性があり疲れにくいのが特長。山地や岩場、濡れた路面などの地形で高いグリップ力を発揮し、踏ん張りがきく。

3

ゴアテックス使用。靴底は＊ビブラム。柔らかくて軽いので登山だけでなくハイキングや散歩にも最適。
③ **Bestard**　＜ Berna ＞ RM1,012　A

13

伸縮自在なポリエステルマイクロファイバーを使用。クイックドライ。通気性がよく匂わない。ヘッドウェアだけでなく色々な用途で使える。
⑬ **Buff**
マルチファンクションヘッドウェア
RM75 〜　A

11

伸縮可能、軽量で持ち運びに便利。チタン製のポールはショックアブソーバル付き。
⑪ **Komperdell** トレッキングポール
1 ペア RM200 〜 RM502　A

アルミニウム製

チタン製

9

10

200 時間持続。キナバル山は団体で登るため近くを照らす LED ヘッドライトがお勧め。
Black Diamond
⑨ RM158 (½ ワット)
⑩ RM211 (1 ワット)　A

12

霧が多く、遠くを照らすにはこちらを。最高 8 時間という持続力のため LED ライトと比較すると短い。登山スタイルに合わせてチョイスして。
⑫ **Princeton Tec**
ハイロジンライト RM100　A

18

19

クイックドライで保温効果が高いインナー（第一レイヤー）は、フラットステッチだから直に着ても違和感がなく体にフィット。薄いながらも丈夫で快適。
Wildroses インナーウェア (女性用)
⑱ RM358　⑲ RM286　A

15

16

フリース。軽くて暖かく、地球にやさしいリサイクル素材を使用。
⑮ **Lafuma** ＜ SUNSET ＞ RM499　B

2 in1 機能。ジッパーをはずせばショートパンツにもなり便利。
⑯ **Vaude** ＜ farley zip off ＞ (男性用) RM260　A

14

上質な Supplex を使用したトレッキングパンツ。驚くほどの薄さ＆軽さはまるで絹のようで、通気性にも優れている。
⑭ **Vaude** ＜ Seascape ＞ (女性用)
RM260　A

Lafuma®
OUTDOOR COMPANY

We are outdoor concept shop specialized in apparel, gears and equipments for hiking, trekking, trail running, mountaineering, climbing, backpacking and outdoor traveling.

Distributor: YELLOWSTONE SND BHD (772432-A) No.16 (Ground Floor), Jalan Telawi, Bangsar Baru, 59100 Kuala Lumpur. **Blog:** http://lafumalaysia.blogspot.com/ **Tel:** 03-2287 1118 **Fax:** 03-2287 1119 **Email:** customercare@lafuma.com.my **www.lafuma.com.my**

COREZONE
www.mycorezone.com

Climbing & Outdoor Recreation Equipment Sdn Bhd (690834-M)
42, Jalan SS2/24, 47300, Petaling Jaya, Selangor, Malaysia
Tel> 03-7873 5560 Fax> 03-7873 5560
Retail Hours : Mon - Fri > 12 noon - 8.30pm
Sat - Sun > 12noon - 7pm

Official Retail Store for